

あらかわ 区議会だより

No. 259

令和2年4月12日
(2020年)



荒川区議会ホームページ

令和元年度定例会 2月会議号



荒川区役所

お も な 内 容

2ページ 議会活動

会議の概要

3ページ 区政のここをきく

10ページ 委員会活動の報告

13ページ 区長の施政方針説明

14ページ 予算審査の概要

15ページ 主な総括質疑

決議

16ページ 予算に対する討論

19ページ 議案の審議結果

20ページ 視察受入報告

議会活動

令和元年12月11日～令和2年3月31日

12月11日～12日

○震災・災害対策調査特別委員会
(行政視察)

12月16日～17日

○観光・文化推進調査特別委員会
(行政視察)

○財政援助団体調査特別委員会
(調査及び行政視察)

12月19日～20日

○議会運営委員会(行政視察)

1月9日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会(区内視察)

1月10日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

1月22日

○財政援助団体調査特別委員会

1月24日

○健康・危機管理対策調査特別委員会

1月27日～28日

○福祉・区民生活委員会

(行政視察及び区外所管施設視察)

1月29日

○議会運営委員会

1月29日～31日

○総務企画委員会(行政視察)

2月3日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

○建設環境委員会

2月4日

○文教・子育て支援委員会

2月7日

○震災・災害対策調査特別委員会

2月12日

○議会運営委員会

2月13日

○本会議

2月17日

○本会議

2月19日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月20日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

2月25日・26日・28日

○予算に関する特別委員会

2月28日

○本会議

3月2日～3日

○予算に関する特別委員会

3月3日

○福祉・区民生活委員会

3月5日・6日・9日

○予算に関する特別委員会

3月12日

○議会運営委員会

3月13日

○本会議

3月16日

○財政援助団体調査特別委員会

3月25日

○文教・子育て支援委員会

太字は2月会議期間中です。



2月会議の概要

～令和2年度一般会計予算ほか3特別会計予算を可決～

令和元年度荒川区議会定例会・2月会議は、2月13日から3月13日までの30日間の会議期間で開かれました。

区長の令和2年施政方針説明の後、本会議では、11名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は3～9ページに掲載しています)。

2月会議では、議案35件が提出されました(議案の審議結果は19ページに掲載しています)。

このうち令和2年度予算4件は、予算に関する

特別委員会を設置して審査を行いました(予算審査に関する詳しい内容は14ページに掲載しています)。



◀本会議の様子

区政のここをきく

2月13日、17日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨



令和2年度予算と災害対策とりわけ水害対策について

志村 博司(自民党)



令和2年度予算について

問 区民が安全・安心に暮らすことができるよう、自民党からも300項目を超える予算要望を提出した。限られた財源の中で不要不急の事項について、徹底的に見直しを行い、必要な分野を充実させ、区民サービスのさらなる向上を図るべきと考える。こうした視点を踏まえ、令和2年度の予算の基本的な考え方について、区の見解を問う。

また、積極的にAIやロボティック技術を活用し業務の効率化を図り、職員の力を区民サービスの向上につなげるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 「区民の安心と元気を育む幸福実感予算」として子育て環境の整備、福祉施策の充実、防災対策の強化など区が取り組むべき施策を最大限具体化し、予算規模は過去最大となっている。引き続き、財務諸表の活用や事務事業の見直し等、健全な行財政運営の維持に努める。また、AI等の活用についても成功事例を積み上げ、他の業務へも拡大していく。来年度はRPAの導入を行い、職員に効果を実感させるとともに実践的な研修を行い、今後も業務改善と区民サービスの向上に努めていく。

災害対策とりわけ水害対策について

問 頻発する気象災害への対策を講じることが喫緊の課題である。まず、ハードの整備が欠かせないが、区の見解を問う。また、限りある公共施設に避難するには限界があるため、3階以上に居住する人は自宅に留まり、1～2週間分の備蓄をしておくよう啓発すべきである。特に、水害時には人それぞれ対応が分かれるため、適切な避難行動をとれるよう荒川版マイ・タイムラインの作成・周知や、情報格差を生じさせぬようできるだ

け多くの正確な情報を収集して速やかに区民へ伝達する方法の構築が必要である。さらに、災害時の廃棄物の仮置き場について、他自治体とも協議し、区外も視野に入れた具体的な方策を検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 ハード面の整備として、JR東北本線荒川橋梁部の堤防の早期整備を求めていく。水害時の避難場所については、建物の3階以上に居住する区民への自宅待機や備蓄等について啓発するとともに、配慮が必要な方等の受け入れができるよう体制構築に努める。今後、「東京マイ・タイムライン」を活用し、区民が的確な避難行動を取ることが出来るよう、更なる啓発に取り組む。区民が的確な情報を基に適切な避難行動をとれるよう、一斉配信システムや防災ラジオの導入を進め、あらゆる機会・手段をとらえて情報収集手段の周知・啓発に努める。また、町会・自治会を通じた伝達を行うなど、情報伝達体制の構築に取り組んでいく。災害廃棄物の仮置き場については区立公園等を基本としているが、他自治体とも協議を重ね土地の確保に努める。衛生面での対策や、リサイクルをするために「分別と選別」など処理体制の構築にも努める。



◀ JR東北本線荒川橋梁周辺の堤防かさ上げ工事の案内看板

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス対策について
- 西日暮里駅前地区再開発について
- 資源循環型社会への取り組みについて
- 防災街づくりについて



安心できる介護保険サービスと安全安心のまちづくりについて

小林 行男 (共産党)



安心できる介護保険サービスについて

問 第8期高齢者プランでは、「住み慣れた地域で住み続ける」ために必要な介護サービス・施設整備を目標とし、一般財源の投入による介護保険料の抑制・値下げを求めるが、区の見解を問う。

答 引き続き、地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、適切な介護サービス量を推計していく。保険料抑制のための一般財源の投入は、国の通知で認められておらず、考えていない。



◀ デイサービスの様子

問 介護職員の賃金アップ・労働条件の改善のため、国費を投入した賃金引き上げ策を創設すると同時に区としての支援強化を求めるが、区の見解を問う。

答 介護保険制度と別枠で、介護職員の処遇改善を行うことは難しい。介護事業者や職員への支援強化については、実態調査の結果を踏まえ検討する。

問 虐待、貧困、社会的孤立、老々介護など処遇困難の高齢者支援は、本来自治体の仕事であるため、区の高齢者福祉課のケースワーカーなど福祉職の増員、支援強化を求めるが、区の見解を問う。

答 処遇困難ケースは年々増加しており、支援を担う福祉職の採用を強化し、スキルアップにも努めている。高齢者福祉課の体制も令和2年度に組織改正を行い、高齢者支援に特化した係を設置する。

安全安心のまちづくりについて

問 1000戸のタワーマンションや巨額の区費を投入する大ホール建設等重大な問題をはらむ西日暮里駅前開発の見直しを求めるが、見解を問う。

答 様々な都市機能の複合化を目指している中で

住宅整備は不可欠であり、ホール整備費について削減策を検討しており、再開発による都市基盤の整備とにぎわい創出に取り組む。

問 住宅耐震化・建て替え支援拡充とともに、建て替え・住み替え促進に向けて、空き家なども活用した公的住宅、町屋5丁目住宅の活用などもすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 耐震性の向上や建て替えを促す助成制度を揃えており、更なる周知・推進に努める。空き家の利活用についても検討を進めている。従前居住者用住宅は適正な戸数を確保していると考えている。

問 高齢者、障害者、ひとり親家庭や若い世代など低所得者の住宅確保が困難であり、家主支援や家賃補助制度の創設を求めるが、区の見解を問う。

答 低所得の高齢者や障がい者向け、区営住宅と都営住宅の供給を行っている。加えて、ひとり親世帯等への支援も行っており、新たな家賃助成等の制度の創設については必要に応じて検討する。

その他の質問項目

- 新年度予算について
- 地域経済の主役である中小企業支援について
- 交通安全対策について



子どもの命を守る政策と防災・減災について

松田 智子 (公明党)



子どもの命を守る政策について

問 子どもの権利を擁護し、児童虐待をなくすため「荒川区子どもの権利条例」や「荒川区子どもへの虐待防止条例」を制定し、母子健康手帳に掲載し、普及啓発すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 平成28年の児童福祉法改正において子どもの権利の尊重が条文に明記された。また、子どもへの虐待防止についても東京都の条例に盛り込まれているため、それらの普及啓発に努めていく。

問 離婚によるひとり親家庭の多くは、養育費の不払いにより貧困状態にある。そうした不払いを解

消するため、都の制度を活用し、養育費を受け取る仕組みを作るべきと考えるが、区の見解を問う。

答 養育費を受け取れる仕組みは、ひとり親家庭の生活安定に繋がるため、区としても公正証書作成費用の助成など新たな制度設計に取り組む。

問 昨年10月より幼児教育・保育の無償化が始まり、区内の保育園では保育料・給食費ともに無償になっているのに合わせ、障がい児療育の場での給食費の無償化を求めるが、区の見解を問う。

答 食事内容や給食費が事業所により異なるなど、一律無償化には課題があると考え。他区の状況を注視しながら、請求・支払方法含め、食費負担の在り方について引き続き検討していく。



子どもの権利条約のポスター

防災・減災について

問 水害時に備え、都立産業技術高専と緊急避難が可能な垂直避難場所としての機能を含めた協定を締結すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 現在は、災害時の応援職員や救助部隊の宿舎、ボランティアセンターの開設場所としての協定を締結しているが、今後、水害時の緊急避難場所としても活用できるよう協議を進めていく。

問 スーパー等の商業施設と協定を締結し、水害発生前に車両を駐車場の上層階に避難させることができるようにすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 商業施設の上層階にある駐車場等に区民が車で垂直避難できるように、区内にある商業施設に対して、協定締結に向けた協議を進めていく。

問 「あらBOSA I」を沢山の区民に知ってもらうため、数年に一度、中学校区単位で開催し、より地域に密着した場をつくり、相互理解を図っていくことを望むが、区の見解を問う。

答 中学校防災部は、各学校の避難所開設・運営訓練等に参加し地域のジュニア防災リーダーとして育てている。「あらBOSA I」がより地域密着

型のイベントとなるよう実施方法等について研究するとともにとともに、創意工夫を図っていく。

その他の質問項目

- 今後の行財政運営について
- 健康対策について



猫の多頭飼育とゴミのポイ捨てについて

宮本 舜馬
(維新・あたらしい党)



猫の多頭飼育について

問 猫の多頭飼育崩壊について、どの程度の危機感と問題意識を持っているのか、区の見解を問う。

答 不妊・去勢費用を助成する等、多頭飼育崩壊に至る前の段階での適正な飼育啓発に努めている。

問 多頭飼育・崩壊について、区はどのような対応をしているか。現状把握の上、避妊・去勢の推進やマニュアル作成を提案するが、区の見解を問う。

答 関連機関とも連携し、飼い主に適正飼育の啓発、不妊・去勢手術費用助成の紹介等をしている。

問 福祉事業とも連携を図り、多頭飼育の現場を確認の上、行政への相談を促すなど対策を講じる必要性を感じるが、区の見解を問う。

答 事例把握後、速やかに関連部署間にて情報共有し、専門性を生かしつつ全庁的に連携・対応する。

ゴミのポイ捨てについて

問 駅前周辺におけるポイ捨てが多いとの声が寄せられていることを認識しているのか。また、どのような対策を講じているのか、区の見解を問う。



駅前周辺での不法投棄を警告する看板

答 駅前周辺の一部でのポイ捨て状況は認識している。今後も利用者の意識啓発に努めるとともに、

清掃の充実など環境美化対策について検討する。

問 マナーアップキャンペーンを応用して、地域住民ボランティアを募ったり、地域の小・中学校の地域活動に絡めて対策を行い、地域の意識を変えていくことは出来ないか、区の見解を問う。

答 これまでも区民との協働による環境美化に取り組んでおり、マナーアップキャンペーン等、美化活動参加者も増加し機運の高まりを感じる。今後も区民と手を携え、環境美化活動を推進する。



骨髄バンクと高層住宅の震災対応策について

竹内 明浩
(民主ゆいの会)



骨髄バンクについて

問 一人でも多くの血液疾患等の患者を救うため、更なるドナー登録の推進と環境改善、現在の助成金制度の充実を図るべきと考えるが、見解を問う。

答 区施設や民間施設等でも周知を図るなど、ドナー登録の更なる普及啓発に努める。ドナーや勤務先への助成金の拡充は十分な検討が必要と考える。

問 年齢制限のある骨髄バンク制度を維持するためには、若年層への普及啓発を強化すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 区内専門学校等で、ポスター・パンフレットによる普及啓発を強化する。また、若い世代がSNSやイベントを通して、同世代に骨髄バンクのPR活動を行う制度について紹介する機会も設ける。



骨髄バンクのポスター

高層住宅の震災対応策について

問 町会・自治会の要望に応じ、マニュアル作成や専門家からのアドバイス、防災情報の提供など、

その地域の特性にあった防災対策強化ができるよう、防災アドバイザー派遣制度をさらに活用すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 今後、消防署と連携し、高層住宅を始めとした共同住宅に「マンション防災マニュアル」を配布するとともに、個々の防災マニュアルの作成を推進していく。また、防災アドバイザー派遣制度を活用しながら地域防災力の更なる向上に努める。



新型コロナウイルス対策と適切な行政運営について

小坂 英二
(日本創新党)



新型コロナウイルス対策について

問 学校、幼稚園、保育園等にて感染防止のため、区独自の方針を示すべきと考えるが見解を問う。

答 国の方針や他自治体の動向を見極め、必要に応じて適切な対応を行っていく。

問 外国人の流入を抑制すべきだが、見解を問う。

答 国が一部地域の入国制限を行っており、今後も適切に対応されるものと認識している。

問 マスク不足の現状から、備蓄マスクを妊産婦など感染弱者へ配布すべきと考えるが、見解を問う。

答 既に、医師会や保育園等に備蓄マスクの配布を行っており、今後も必要な緊急対策を実施する。



新型コロナウイルス感染症対策のポスター

適切な行政運営について

問 想定していなかった事態に対して、予備費で効果的な対応をすべきと考えるが、見解を問う。

答 急を要する事態に適切に対応できるよう、今後の自然災害の増加も見据え、研究していく。

問 ジェネリック医薬品の利用促進をやめるべき

と考えるが、見解を問う。

答 国の方針に基づいた医療費適正化のための取り組みであり、今後も正しい理解を促していく。

問 ゆいの森の乳幼児一時預かり事業の利用者制限の見直しを求めるが、区の見解を問う。

答 時間単位制の導入、また遊びラウンジとの一体的な運営により安心いただけるものと考えている。



東京女子医科大学東医療センター跡地の活用と西日暮里駅前地区再開発について

藤澤 志光
(自由民主の会)



東京女子医科大学東医療センター移転後の跡地の活用について

問 既存の外来棟と東病棟の2つの施設の接続をどのようにするのか、区の見解を問う。

答 国の通知を参考にしながら、今後、整備内容については運営事業者と協議していく。

問 同時に移転予定の看護専門学校用地について、今後、区はどのような用途を考えているのか。

答 関係部署と連携し、引き続き、地域の活性化につながるような活用方法を検討していく。



移転予定の東京女子医科大学看護専門学校

西日暮里駅前地区再開発について

問 権利変換のタイプは、地上権非設定型か全員同意型か。区民にこれらの説明がないのはなぜか。

答 権利変換方式については、都市計画決定前の現段階では明確に決まっていないが、土地は建物の持ち主全員の共有となる方式を想定しており、今後も事業の進捗に合わせ、地権者への丁寧な説明を行うよう、準備組合を指導する。

問 再開発地域決定は、誰がどこでいつ決めたのか。

答 準備組合の前身であるまちづくり協議会において地権者などに意向調査を行った結果、再開発によるまちづくりを現在の区域にて検討を行う前提で、再開発準備組合が設立されている。

その他の質問項目

○指定管理と委託について



就労継続支援の現状と西日暮里駅前地区再開発及び防災対策について

河内 ひとみ
(あらかわ元気クラブ)



就労継続支援の現状について

問 障がい者やその家族の高齢化等により、福祉作業所への送迎が難しくなった場合を含め、障がい者の就労支援の現状を調査し、今後も生きがいをもって生活するための支援について検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 現在、近隣区を含め車両送迎を行う事業所は把握していない。現状では、自力での通所を原則と考えるが、本人とその家族の高齢化に伴い生じる生活上の困難は重要な課題であり、区内作業所や他区の状況等も注視しつつ検討していく。



事業所などで就労する様子(出張販売)

西日暮里駅前地区再開発と防災対策について

問 タワーマンションにおける災害対策について、区はどう認識し、対策を講じているのか。また道灌山中学校跡地の活用についても、「災害に強いまちづくり」という観点からも、仮設住宅用地等として活用することが災害対策に有効と考えるが、区の見解を問う。

答 建物の災害対策のほか、帰宅困難者の受け入れや防災用品の備蓄等、地域防災への貢献を計画し

ている。また、仮設住宅の建設用地は、都立汐入公園、南千住野球場及びあらかわ遊園運動場を予定しており、道灌山中学校跡地は想定していない。

その他の質問項目

○日暮里駅前地区再開発後の方向性について



活気あふれるまちづくりとスポーツによる元気な地域づくりについて



菅谷 元昭 (自民党)

活気あふれるまちづくりについて

問 日暮里地域活性化施設が、どのような機能をもって地域の活性化に貢献するのか、また増加する外国人観光客に対して、どのような「おもてなし」をしていくのか、区の見解を問う。

答 全国有数の繊維問屋街の日暮里で、地域コミュニティの拠点として、区民事務所、おもてなしスペース、インキュベーション施設等を備え、体験を重視する「コト消費」を促進し、創作活動が楽しめ、事業者を育成する施設になっている。

問 複数の商店街において、イベントの実施や若手が主体で地域の活性化につながる取り組みを実施している。商店街振興をさらに充実させるためにも、商店街が独自に取り組む地域活性化に資する事業に対し支援強化を求めるが、区の見解を問う。

答 商店街には、街路灯整備やイベント補助等の支援を行っている。また、にぎわい創出事業やイベント推進事業等の補助制度により、様々なニーズにあった支援を行い、地域の活性化を図っていく。



◀区内の商店街

スポーツによる元気な地域づくりについて

問 スポーツセンターリニューアル後、健康づくり

の拠点としてもさらに多くの区民の利用を促進するために、効果的なイベントや取り組みを展開すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 オリンピック・パラリンピックの機運醸成と合わせ、障がいのある方も参加出来る事業の実施や、無料利用期間を設けて新しい施設の体験など、より多くの区民が利用できるよう事業展開する。

問 オリンピック・パラリンピックの期間中、パブリックビューイングを開催し、会場が一体となり競技を盛り上げるとともに、観戦後にはその競技が実践できるようにして、観戦と実践が連動した取り組みを提案するが、区の見解を問う。

答 1階フロアでパブリックビューイングを実施するほか、公式練習会場となるシッティングバレーについては、パラスポーツ競技の普及のため、その後も設備を活用するなど、競技の観戦や実際に体験できる施設として積極的に活用していく。

問 自国で開催するオリンピックの聖火リレーやセレモニーを、記憶に残り未来に語り継げる1日にするため、より多くの区民が参加し出来る限り多くの地域ボランティアに協力してもらうために様々な趣向を凝らすべきと考えるが、見解を問う。

答 聖火リレー当日、多くの区民にリレーコース沿道やセレブレーション会場でランナーを応援していただけるよう、区内の様々な団体に協力を依頼し、区民の力を結集し一大事業を成功に導く。

その他の質問項目

○人に優しい地域づくり

○未来の担い手が育つ地域づくり



いきいきと過ごせる学校づくりと医療的ケア児への支援について



相馬 ゆうこ (共産党)

教員も子どもも、いきいきと過ごせる学校づくりについて

問 一週間の在校時間が60時間以上の教員をゼロにし、負担軽減を求めるが、区の見解を問う。

答 「荒川区立小・中学校における働き方改革プラン」を策定し、教員の負担軽減に取り組んでいる。

問 公立の学校教員に1年単位の変形労働時間制は導入すべきでないとするが、区の見解を問う。

答 国や都の動向を注視し、制度の効果・課題について研究し、働きやすい環境の実現を目指す。

問 生徒の権利が守られ尊重される学校づくりの促進を求めるが、区の見解を問う。

答 中学校では、標準服の選択にも配慮しており、人権を尊重し合える教育環境の整備に努めている。



▲荒川区立中学校の制服の一例

医療的ケア児への支援について

問 医療的ケア児を持つ保護者同士を繋ぐための支援や情報提供を求めるが、区の見解を問う。

答 保護者同士をつなぐ活動を行っている団体と協働するなど、今後も家族支援を継続していく。

問 医療的ケア児の保育所受け入れについて、早期に実施するよう求めるが、区の見解を問う。

答 保育所では人材確保等の課題が大きく、居宅での保育提供について具体的な検討を行っている。

問 実態把握と要望の聞き取りを行い、今後の計画を策定するよう求めるが、区の見解を問う。

答 ケースワーカーによる丁寧な聞き取りや、関係各課での情報共有を行っている。今後の障がい児福祉計画に、意見を反映させていく。

その他の質問項目

○安心して子育てできる環境づくりについて



感染症の予防対策と荒川区のイメージアップ及び観光施策について

夏目 亜季
(維新・あたらしい党)



感染症の予防対策について

問 感染症予防の正しい情報を発信するため、ホームページはもとより、SNSの活用など、即時性のある情報提供を求めるが、区の見解を問う。

答 適切な時期に適切な情報を、各種広報媒体を活用して周知を図っている。LINE等については、他自治体の動向を注視しながら、検討していく。

問 妊娠期の感染から子ども達を守るため、風疹の知識の普及啓発を行い、検診率を上げ、予防接種の促進を図るべきとするが、区の見解を問う。

答 これまでも対象者には個別通知や、ポスター等で周知し抗体検査の促進を行ってきた。今後さらに、職域に対して労働基準監督署との連携や、庁内連携などを強化し、実施率の向上に努める。

問 国の検討会において、HPVワクチンのリーフレットを自治体から個別送付することが協議されたが、子宮頸がんの問題に対して、今後どのように対応していくのか、区の見解を問う。

答 その後、国からも情報提供の方法に関して具体的な情報や正式な決定等がないため、検討が続いている状態であると認識し、動向を注視している。

荒川区のイメージアップと観光施策について

問 アニメなど海外で関心の高い分野で活躍している方に観光大使を依頼できないか。また、「繊維の街・ファッションの街」として日暮里をアピールするのなら、衣装の展示や販売をし、買って見ても楽しい街にすべきと思うが、見解を問う。

答 区の認知度向上のため、観光大使やあら坊・あらみいの更なる活用策を検討するとともに、観光アプリの配信、日暮里地域活性化施設の開設により情報発信を強化するなど、様々なツールを用いてイメージアップを図る。



▲シンボルキャラクターの活用

その他の質問項目

○困難を抱えている人が生きやすい社会について

委員会活動の報告

(※12月11日～3月31日)

議会運営委員会

志村 博司 委員長

12月19日～20日

◆行政視察

- ①愛媛県松山市
 - ・松山市議会の議会運営について(19日)
 - ・議会報告会について(19日)
- ②愛媛県
 - ・愛媛県議会の議会運営について(20日)

1月29日

◆2月会議について

- ①提出予定案件について
- ②一般質問等の締切日について
- ③提出議案説明のための委員会開会について
- ④2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑤予算に関する特別委員会の設置について 等

◆行政視察の集約について

2月12日

◆2月会議について

- ①荒川区議会委員会条例の改正案について
- ②議員提出議案の提出について
- ③陳情書の受理について
- ④2月13日・17日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

3月12日

◆2月会議の最終日について

- ①議事日程について
- ②明日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ③2月会議の終了について 等

◆今後の議会日程について



▲愛媛県松山市にて
研修の様子

常任委員会

総務企画委員会

小林 行男 委員長

1月9日

◆所管事務事業説明

- 第44回荒川区政世論調査結果について

1月29日～31日

◆行政視察

- ①静岡県富士市
 - ・ユニバーサル就労推進事業について(29日)
- ②兵庫県神戸市
 - ・商店街・小売市場の振興について(30日)
- ③兵庫県明石市
 - ・人事戦略について(31日)

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和2年度荒川区一般会計予算について
- ②令和元年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について
- ③荒川区立日暮里地域活性化施設条例の制定について 等

◆所管事務事業説明

- ①都区財政調整協議結果について
- ②あらかわ区政経営戦略プラン(令和2年度版)の策定について
- ③私債権にかかる債権管理の取組状況について 等

2月19日

◆付託された議案について

- 議案第76号
荒川総合スポーツセンター大規模改修工事請負契約の一部を変更する契約 等



▲静岡県富士市にて
研修の様子

文教・子育て支援委員会

北城 貞治 委員長

1月10日

◆所管事務事業説明

- ①ゆいの森あらかわの託児及び遊び라운ジの運営方法の見直しについて
- ②東京2020オリンピック聖火リレーに係る荒川区内の走行ルート等について 等

◆行政視察の集約について

2月4日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和2年度荒川区一般会計予算について【文教・子育て支援委員会関係】
- ②荒川区立保育所条例の一部改正について
- ③荒川区の児童自立支援施設に係る事務の委託について ほか

2月20日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第10号
荒川区就学援助の実施に関する条例
- ②議案第72号
荒川区の児童自立支援施設に係る事務の委託について 等

◆所管事務事業説明

- ①第2期荒川区子ども・子育て支援計画(案)の策定について 等

3月25日

◆区内視察

- 子ども家庭総合センターについて



◀荒川区子ども家庭総合センター

福祉・区民生活委員会

保坂 正仁 委員長

1月9日

◆区内視察

- ①花の木ハイム荒川における食・動クラブかめ(介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスA)について
- ②荒川地域包括支援センターについて

1月27日~28日

◆区外所管施設調査

- ホテルニューアカオ
・施設運営状況について(27日)

◆行政視察

- 台東区指定保養施設(ホテル・サンミ倶楽部)
・施設概要等について(28日)

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- 荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例の一部を改正する条例について 等

◆所管事務事業説明

- 後期高齢者医療制度における保険料等の改定について 等

2月19日

◆付託された議案について

- 議員提出議案第12号
荒川区高齢者に係る介護保険料の負担の軽減に関する条例 ほか

3月3日

◆付託された議案について

- 議案第80号
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例



◀ホテルニューアカオの調査の様子

建設環境委員会

菅谷 元昭 委員長

1月10日

◆所管事務事業説明

- 「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」の公表について

◆行政視察の集約について

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和2年度荒川区一般会計予算について【建設環境委員会関係】
- ②令和元年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について【建設環境委員会関係】
- ③荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

◆所管事務事業説明

- 荒川区公衆・公園トイレの整備方針(案)について

2月20日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第13号
荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例
- ②議案第65号
荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

◆委員会付託事項

- 新たに付託された陳情について



◀区内公園の公衆トイレ

特別委員会

震災・災害対策調査特別委員会

町田 高 委員長

12月11日~12日

◆行政視察

- ①熊本県上益城郡益城町
・熊本地震後の進捗状況について(11日)
- ②熊本県熊本市
・熊本市広域防災センターについて(12日)
・熊本地震後の熊本城の復旧状況について(12日)

2月7日

◆調査研究事項

- ①荒川区風水害対応方針(案)の策定について等

◆行政視察の集約について



◀熊本市広域防災センターにて研修の様子

健康・危機管理対策調査特別委員会

斉藤 邦子 委員長

1月24日

◆調査研究事項

- ①鳥インフルエンザA(H7N9)のヒトへの感染の状況について



◀咳エチケット注意喚起のポスター

観光・文化推進調査特別委員会

森本 達夫 委員長

12月16日～17日

◆行政視察

- ①愛知県名古屋市
 - ・名古屋魅力向上・発信戦略コスプレホストタウン宣言の取り組みについて(16日)
- ②静岡県静岡市
 - ・「まちは劇場」推進事業の取り組みについて(17日)



◀静岡県静岡市にて研修の様子

財政援助団体調査特別委員会

中島 義夫 委員長

12月16日～17日

◆行政視察

- ①岩手県紫波郡紫波町
 - ・オガールプロジェクトについて(16日)
 - ②岩手県下閉伊郡田野畑村
 - ・田野畑村役場(17日)
- 【三陸鉄道運営費補助金等における財務に関する調査・管理運営について】 等

1月22日

◆調査研究事項

- 荒川区シルバー人材センターについて ほか

3月16日

◆調査研究事項

- 荒川区社会福祉協議会について



◀岩手県紫波郡紫波町にて研修の様子

令和2年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

西川区長から、2月13日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

私は、区長就任以来一貫して、誰もが幸福を実感できる地域社会を目指して、全力で取り組んでまいりました。今、我が国では、家族の在り方などが変化し、痛ましい事件が相次いでおりますが、荒川区は、基礎自治体として、児童相談所を整備・運営し、地域ぐるみで子どもの安全と健やかな成長を支えるべきと考え、精力的に取り組んでまいりました。区政の各分野においても、これまで以上に地域力の輪を更に大きく広げ、区民の皆様笑顔に灯す施策を推進してまいります。

令和2年度予算は、「区民の安心と元気を育む幸福実感予算」として、次代を担う子どもの成長を見守る取り組み、暮らしを支え、安全・安心を確保する取り組み、生活に潤いをもたらす、街の活力を高める取り組み等、区民サービスの更なる充実を図るよう編成しました。

今、蒔いた種が、将来、区民の皆様の幸福という実を結ぶよう、未来を見据え、今なすべきことをしっかりと行っていくことが、令和の時代に生きる我々の使命でもあります。

私は、そのような強い思いのもと、全ての職員の先頭に立ち、区民サービスの充実と質の向上に向けて、精一杯取り組んでまいります。区議会並びに区民の皆様におかれましては、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



◀区長の施政方針説明の様子

予算に関する特別委員会で 令和2年度予算を可決

令和2年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」を設置し、2月25日から3月9日まで審査を行い、いずれも可決されました。



◀ 予算に関する特別委員会の様子

委員会の審査経過

2月25日 一般会計予算 ○予算大綱説明(副区長) ○総括質疑(9会派) ※主な質問項目は別掲 ○歳出審査(議会費・総務費)	3月3日 ○歳出審査(民生費・衛生費)	○採決 修正案(共産党提出) 採決の結果 否決
2月26日 ○歳出審査(総務費)	3月5日 ○歳出審査(衛生費・環境清掃費・産業経済費)	原案 採決の結果 可決
2月28日 ○歳出審査(総務費)	3月6日 ○歳出審査(土木費・教育費)	• 国民健康保険事業特別会計予算 • 後期高齢者医療特別会計予算 • 介護保険事業特別会計予算
3月2日 ○歳出審査(総務費・民生費)	3月9日 ○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費) ○歳入審査(一括審査)	○審査 ○採決 採決の結果 可決

令和2年度 予算の概要

年度区分		令和2年度 予算額	平成31年度 (令和元年度) 予算額	増減	増減率
一般会計		1,069億7,000万円	1,022億9,000万円	46億8,000万円	4.6%
特別 会計	国民健康保険 事業	237億6,500万円	246億2,800万円	△8億6,300万円	△3.5%
	後期高齢者 医療	50億8,900万円	50億2,800万円	6,100万円	1.2%
	介護保 険事業	184億9,400万円	174億9,500万円	9億9,900万円	5.7%

主な総括質疑

自民党
鎌田 理光 委員



○水害対策の充実・強化について

自民党
北城 貞治 委員



- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 東京女子医科大学東医療センター移転後の新病院について
- 児童相談所について

公明党
山口 幸一郎 委員



- 東京都のベビーシッター利用支援事業について
- わかもの就労サポートデスクについて
- 放置自転車対策の強化について

共産党
横山 幸次 委員



- 消費税増税と区民の暮らしと地域経済の実態について
- 児童相談所開設と子どもの貧困について
- 子どもの権利と保育の質について

維新・あたらしい党
山田 晴美 委員



- 保育園の働き方について
- 学校の教職員の働き方改革について
- 荒川区の予算のあらましについて

民主ゆいの会
清水 啓史 委員



- 児童相談所について
- 喫煙所問題について

日本創新党
小坂 英二 委員



- 風水害対応について

自由民主の会
藤澤 志光 委員



- 地籍調査と区道の官民境界について

あらかわ元気クラブ
河内 ひとみ 委員



- 子どもの権利条約について
- 保育園の指導検査について

立憲民主党
久家 繁 委員



- オリパラ聖火リレー盛り上げについて



◀区長答弁の様子



◀初日に行われた総括質疑の様子

「天皇陛下御即位に伴う賀詞」決議 (全文掲載)

賀詞

天皇陛下におかせられましたは 御即位になりましたことは まことに慶賀に堪えないところであります

天皇后陛下のいよいよの御清祥と 令和が平和で幾久しく続きますようお祈り申し上げます
ここに荒川区議会は 謹んで慶祝の意を表します

令和2年3月13日

荒川区議会

令和2年度予算をこう評価する

3月13日の本会議において、令和2年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民の安心と元気を育む幸福実感予算となるよう一層努力することを要望し、賛成
自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民が真に求めている区民サービスを効率的・効果的に実施し、あまねく区民の生活が向上し、安心・安全に暮らすことのできる街づくりを目指し、13の重点項目をはじめ、300を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

区はこの要望を踏まえ、内部努力の更なる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図る一方、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分しており、改めて区の努力を高く評価する。

主な施策について述べると、震災対策では本庁舎屋上に72時間稼働が可能な非常用発電機整備の着手、避難所開設訓練の積極的実施、子育て支援では私立幼稚園教諭への宿舍借り上げ支援、奨学金返済支援事業の実施、産業振興では日暮里地域活性化施設にて繊維街という立地を活かした創業支援施設・カフェ等の設置等を高く評価する。

これらの他にも、我が党は予算に関する特別委員会における質疑を通じて、各分野の施策や事務事業に関して、具体的に確認を行った。主なものを挙げると、成人の日の集いの対象年齢の早期決定及び開催日変更の検討、東日暮里地域への防災備蓄倉庫設置、高層マンション屋上で備蓄の推奨、日暮里駅等への駅・ストリートピアノの設置、AI活用による特殊詐欺対策の導入、水害と震災を区別した訓練の実施、喫煙所設置による区内の分煙環境の整備、医療的ケア児への居宅訪問型保育における近隣保育園との連携強化、在宅育児家庭への支援の充実、新型コロナウイルス感染症に対する区としての方針を持った具体の対応、シエ

アサイクルとの連携やホテル・旅館情報など観光アプリが長く愛されるコンテンツの検討、危険老朽空き家の処理に向けた粘り強い努力、教員の働き方改革に向けた業務内容の軽減と教員の意識改革、区費のスクールカウンセラーの十分な経験と質の担保等である。

最後に3点、強く要望する。新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望を踏まえ、各分野における即応体制を速やかに準備、緊急対策を実施し、感染拡大を防止すること。西日暮里再開発のホールの整備については、事業自体及び事業計画のさらなる精査、民間活力による事業スキームの転換など、あらゆる手段の鋭意検討と創意工夫に努めること。これらの課題の解決の前提となる健全な財政運営を維持するため、財政フレームを作成すること。区においては、こうした我が党各議員からの意見や提案を真摯に受け止め、ぜひとも区政に反映するよう求める。

これらを踏まえ、新年度の予算執行にあたっては、区民の安心と元気を育む幸福実感予算となるよう一層努力することを要望し、また、自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今後とも西川区政を支えていくことを表明して予算案に賛成の討論とする。



◀日暮里地域活性化施設
(完成イメージ図)



区民生活の向上に一層の努力を
要望し、賛成



公明党

令和2年度予算は、西川区長就任第4期目を締め括る予算であり、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、子育て環境の整備、介護予防の推進、防災対策の強化等、区民の安全安心の向上はもとより、地域の経済や文化の活性化等に着実に取り組むことで、区民の幸福実感を一層高めていくという思いが込められたものと受け止めている。

一般会計の予算規模は1070億円となっており、ふれあい館や新尾久図書館の整備、児童相談所の設置など、過去最大規模の予算となった。

私たち公明党荒川区議会議員団は、昨年9月、本予算の編成に先立って、日頃の区民相談で受けた要望を踏まえ、142項目に及ぶ令和2年度予算に関する要望書を西川区長へ提出した。区は、この要望を受け止め、「区民の安心と元気を育む幸福実感予算」として本予算を編成したものと高く評価している。

具体的には「運転経歴証明書の取得を支援する制度の導入」、「児童相談所の区移管に向けた職員の人材確保及び育成」等々が予算化されており、その他にも私たちの主張が幅広く取り入れられ、限りある財源を重点的・効果的に配分し、メリハリの利いた予算を編成したものとなっている。

また、予算に関する特別委員会においても、「あらBOSAの中学校区単位での開催」、「絵本大賞受賞作品の即売や記念誌発行等の検討」、「高齢者住宅契約貸主助成事業や都市型軽費老人ホームのさらなる周知」、「里親制度の拡充に向けた取り組みの推進」、「肺炎球菌予防接種の接種率向上」、「公立小学生の制服についての前向きな検討」等、早急に検討すべき課題として、要望・提案を行った。さらに、総括質疑において行った、「就職氷河期世代や高齢者への就労支援」等の提案についても、ぜひとも今後の予算執行等に反映し、区民生活の向上に一層努力することを要望して本予算案に賛成の討論とする。



◀過去に開催された
あらBOSAの様子

西日暮里再開発などを見直し、
区民のくらし応援第一の予算
編成を求め、反対



共産党

本予算案には、消費税増税、雇用の不安定、収入減に苦しむ区民を応援する新規事業はない。区民のくらしを守るため、地方自治の本旨である住民の福祉と安全のための予算編成をすべきである。

本予算案に反対の理由は、第1に、西日暮里再開発などを優先し、区民のくらし応援の施策を後回しにしていること。第2に、児童相談所の設置に向けた専門職の増員を区独自でできたように、高齢者福祉や生活保護行政への専門職の増員を行うべきであること。第3に、税金等の滞納処分が機械的に行われ、くらしのSOSという認識が弱いこと。第4に、保育の質の確保と保育士の処遇改善などの抜本的対策が進んでいないこと。第5に、高齢者・障害者・ひとり親などの、公的住宅の確保や家賃補助の拡大に消極的なこと。第6に、国民健康保険料等の負担を減らす対策の検討がないこと。第7に、防災に強いまちづくりは、木造密集地域の改善こそ、第一義的課題であること。

次に、以下についても要望する。防災減災対策について、高齢者などへも早期に防災ラジオを配布すること。介護保険について、必要なサービスの提供が削減されないこと。障害者福祉について、三障害ワンストップの機能が果たせる基幹型障害者支援センターとすること。環境分野について、減プラスチックごみ削減の仕組みづくりをすること。ジェンダー平等の実現に向け、男女平等推進センターの体制を強化すること。

最後に、新型コロナウイルス対策について、PCR検査と医療体制の強化とともに、学校休校における家庭への負担増や子どものケア、地元の事業者の救済措置、休業補償について政府の不十分な対応のカバーを求める。

対応すべき課題が山積し、敏速適切な対応が求められる中で、国の指示や要請通りでなく、緊急補正予算を組む構えで対応することを求め、反対討論とする。



◀ごみ削減に向けた取り組み

風水害対策等の施策の充実・実効性を図るよう求め、賛成



民主ゆいの会

令和2年度一般会計予算は、①限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、②事務事業の再点検・見直しを図ること、③中長期的な視点に立った財政運営をすること、の3点に重点を置いて積極予算を編成したとの説明がなされた。

委員会においては、この方針のもとに適切に予算編成がなされ、実効性のある施策が実施されるのか、との認識をもって審議に臨んだ。賛成にあたり、風水害対策としての応急対策用車両を事前に安全な場所に避難できるよう事業者との協定締結、地域猫対策、防災ヘルメットの導入、スケートパーク施設の設置等について、施策の充実・実効性を図るよう求める。

また、西日暮里の再開発については、更なる議論の必要性を感じる。

昨年、会派として要望した、3歳児健診における「視覚スクリーニング検査」の追加、スクールサ

ポートスタッフ充実に向けた取り組み、自転車のまち荒川区の実現に向けたシェアサイクルの実証実験の導入等を評価し、賛成の討論とする。



◀折りたたみ式防災ヘルメット

世の中の風潮に流されて編成された予算案であり、反対



日本創新党

反対する理由は、日本の経糸を守り引き継ぐ覚悟も大局観も持たず、世の中の風潮に流されて編成された予算案であるからである。

日本国内の北朝鮮である朝鮮学校が対象の9割を占める外国人学校保護者補助金に、多額の予算を組んでいるのは、行政によるテロ国家支援に他ならない。また、タブレットパソコンをすべての小中学校へ1人1台体制でばらまき、教育をタブレット頼りに劣化させている。保育園の運営・建設に対して100億円も支出する一方、家庭での子育てをする世帯への支援が貧弱である。新型コロナウイルス感染者の情報を基本的に公開しない姿勢も問題である。西日暮里駅前再開発への多額の公金投入も到底賛成できない。

以上申し述べた点を中心に、異議申し立てを行い、反対の討論とする。



◀新型コロナウイルスを含む感染症対策の啓発

議案の審議結果

令和元年度定例会・2月会議

○ 賛成 × 反対 太字は討議のあったことを示す

議案番号・議案名	自	公	共	維	民	日	自	あ	立	結	
	民	明	産	新	主	本	由	ら	憲		
	党	党	党	・	の	新	民	か	民		
	11	6	6	3	2	1	1	1	1		
議員提出議案(7件)											
第10号	荒川区就学援助の実施に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	○	○	否決
第11号	荒川区シルバーパス費用負担額の助成に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	○	×	否決
第12号	荒川区高齢者に係る介護保険料の負担の軽減に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	○	×	否決
第13号	荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例	×	×	○	×	○	○	○	○	○	否決
第14号	荒川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	×	○	○	否決
第15号	荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	天皇陛下御即位に伴う賀詞奉呈について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(28件)											
第54号	荒川区立日暮里地域活性化施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第55号	荒川区児童福祉審議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第56号	荒川区認定こども園の認定要件に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	荒川区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第58号	荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第59号	選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第60号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第61号	荒川区立保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第62号	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第63号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第64号	荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第65号	荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第66号	令和元年度荒川区一般会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第67号	令和2年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	○	×	○	×	○	可決
第68号	令和2年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第69号	令和2年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
第70号	令和2年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
第71号	荒川遊園(仮称)キャンディハウス外5棟建築及び改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第72号	荒川区の児童自立支援施設に係る事務の委託について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(砂田 厚美氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第75号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(小澤 清氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第76号	荒川総合スポーツセンター大規模改修工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号	荒川総合スポーツセンター大規模電気設備改修工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第78号	荒川総合スポーツセンター大規模給排水衛生設備改修工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号	荒川総合スポーツセンター大規模空調設備改修工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第80号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
同意 第4号	荒川区教育委員会教育長の任命同意について(高梨 博和氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

全国から多くの議会が視察に訪れています

1月～2月の間、12団体の行政視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
1月16日	 沖縄県沖縄市議会	都市公園内の保育園建設について
17日	 愛知県議会	聴覚障害者支援事業について
20日	 新潟県燕市議会	ゆいの森あらかわについて
22日	 石川県輪島市議会	ゆいの森あらかわについて
23日	 兵庫県西宮市議会	「特殊詐欺対策」について
27日	 茨城県つくば市議会	①「読書を楽しむまち・あらかわ」の推進について ②ゆいの森あらかわについて
29日	 文京区議会	①タブレットを活用した学校教育について ②学校図書館を活用した教育について
2月 3日	 北海道江別市議会	①荒川区職員ビジネスカレッジについて ②ゆいの森あらかわについて
3日	 秋田県湯沢市議会	ゆいの森あらかわについて
6日	 大阪府高槻市議会	①荒川区民総幸福度(GAH)の取り組みについて ②ゆいの森あらかわについて
14日	 福島県伊達市議会	①通年議会の取り組みについて ②ゆいの森あらかわについて
18日	 埼玉県久喜市議会	①荒川区民総幸福度(GAH)の取り組みについて ②ゆいの森あらかわについて



▲兵庫県西宮市議会 様



▲文京区議会 様



▲埼玉県久喜市議会 様

小坂眞三議員逝去

荒川区議会議員小坂眞三氏(享年65歳)は、令和2年3月16日逝去されました。氏は、平成3年に荒川区議会議員になられて以来、27年間にわたり区政に貢献されました。この間、議長、総務企画委員会委員長、文教委員会委員長、建設環境委員会委員長、荒川区監査委員等の要職を歴任され、荒川区の発展のため、献身的に尽力され、多大な功績を残されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

